

【No.1】赤潮 AI 予測システム開発に向けた中間報告会を開催しました!【担当: 浅海干潟研究部、企画情報室】

事業名: 赤潮対策緊急支援事業 (R7.2 補正) (海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要: 9 月 12 日に、システム開発・研究に携わる独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 (以下「熊本高専」という。)

から、システム開発に係る中間報告がありました。当センターからは、「今年度の有害赤潮は発生時期が遅く、例年と発生パターンが異なること」、「AI 予測に用いる自動観測ブイデータの取り扱い (外れ値をどうするか)」、「赤潮が発生しない冬場のデータの取り扱い (予測のためのデータとして必要かどうか)」等について助言を行いました。翌年 1 月に予定されている成果報告会に向けて、引き続き、意見交換を実施していきます。



写真① 中間報告会の様子

【No.2】資源評価調査を行っています!【担当: 資源研究部】

事業名: 資源評価調査事業

概要: 資源研究部では、熊本県周辺海域における主要魚種について、国立研究開発法人水産研究・教育機構と連携した資源評価調査を実施しています。8 月 19 日には、調査の一環として、天草市牛深町の「牛深地方卸売魚市場」にて、マダイやマイワシ等の調査対象魚種 (令和 7 年度時点で 26 魚種) について、全長・尾叉長・生殖腺重量等について測定を行いました。これらのデータは、資源評価のための基礎データとして活用しています。



写真② 測定の様子 (市場内)



写真③ 生殖腺測定の様子 (棒受網での漁獲物)

【No.3】試験研究推進のための研究評価会議を開催しました!【担当:企画情報室】

事業名:水産業広報・研修授業

概要:当センターでは、毎年研究課題の成果や計画を外部委員の方々に評価いただき、その御意見を研究課題へ反映させ、より効率的に試験研究を推進していくために、研究評価会議を開催しています。今年は8月29日に、計3事業について評価いただきました。沿岸域における卵や稚魚の調査では、委員から「資源管理型漁業の推進のために現状把握に加え、減少要因の分析や改善策にも取り組んで欲しい」などの意見をいただき、今後の研究推進に向けた有意義な議論の場となりました。いただいた御意見を踏まえ、より実用性の高い試験研究の実施と成果の普及に取り組めます。



写真④ 評価会議の様子



写真⑤ 評価会議の様子

【No.4】地元中学校のインターシップ実習を行いました!【担当:企画情報室】

事業名:水産業広報・研修事業

概要:当センターでは、当センターの業務及び本県水産業への理解を深めてもらうことを目的に、中学・高校・大学生のインターンシップ実習を受け入れています。9月3日及び4日には、地元の大矢野中学校の生徒3名を受け入れ、「アサリのソーティング」や「海水採取・プランクトン観察」など、当センターの業務を通じて、仕事をする上でのやりがいや苦労などについて体験してもらいました。当センターでは、水産関係者ばかりではなく、一般の方の見学も随時受け付けていますので、御興味がある方は御連絡ください。



写真⑥ 実習の様子(アサリソーティング)



写真⑦ 実習の様子(プランクトン観察)

【No.5】センターで孵化させたブリ人工種苗の配付を行いました!【担当:養殖研究部】

事業名:ブリ人工種苗量産技術開発試験(海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要:養殖研究部では、ブリ養殖業の持続的な発展のため、人工種苗の量産技術開発試験を行っています。今年の8月1日に、国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産技術研究所五島庁舎から受精卵(約5万個)を受け取り、当センターで孵化・種苗生産に取り組んだ結果、9月19日に種苗生産が終了し、10月9日及び16日に県内協力業者へ約8千尾配付することができました。今後は、赤潮が本格化する前の再来年春頃の出荷を目指して、引き続き、現場での成長性や生育状況を確認していきます。



写真⑧ センターで生産した人工種苗



写真⑨ 稚魚配付状況

【No.6】マガキの稚貝を配付しました!【担当:養殖研究部】

事業名:新たな稼げる養殖業推進事業(海の再生及び環境対策特別委員会関連事業)

概要:養殖研究部では、カキ類養殖の生産安定化のため、カキ類の種苗生産技術開発を行っています。9月25日には、当センターがカキ類の稚貝の生産委託をしている公益財団法人里海づくり協会で生産したマガキの稚貝約3万個を県内養殖業者へ配付しました。養殖研究部では、カキ類のへい死抑制に向けて干出処理等の有効性の確認試験にも取り組んでおり、引き続き、生産安定化に向けた技術開発に取り組んでいきます。



写真⑩ 配付前のマガキ稚貝



写真⑪ 稚貝配付状況

【No.7】水産技術職員研修会を開催しました！【担当：企画情報室】

事業名：水産業広報・研修事業

概要：水産技術職員としての資質の向上を図るとともに、今後の業務に必要とされる知識を身につけることを目的とした研修会を9月26日に開催しました。研修会では、本県の水産関係の施策の方向性を示す「熊本県水産基本計画」や現場での指導等の根拠法である「漁業法等の漁業関係法令」、「水産業協同組合法」の基本的事項について、担当者から説明があり、活発な質疑応答が行われました。また、研修会後に参加者に実施したアンケートでは、他の研修テーマとして、「学术论文の書き方」「新規就業に係る支援制度」「農林関係の業務」等について研修を希望する声もあったことから、当センターでは研修ニーズの把握に努めるとともに、引き続き、水産技術職員の資質向上に繋がるための研修を企画していきます。



写真⑫ 研修風景



写真⑬ 漁業関係法令について